

2010年3月26日

平成21年12月期 決算説明会

MediBic

MediBIC Group

株式会社メディビックグループ
証券コード2369 東証マザーズ

Part 1. 会社概要

1. メディックグループ 会社概要

会社概要は以下のとおりでございます。『再生プラン2009』におけるコスト削減の一環として、2010年3月1日付で、本社所在地を渋谷区桜丘町に移転致しました。

会社概要

資本金	20億5,839万円（2009年12月末現在）
設立	2000年2月17日
本社	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町27-2 第二シバビル3F
代表取締役	橋本 康弘（易周）
公開市場	東証マザーズ（証券コード2369）
主な事業内容	バイオマーカー創薬支援事業、テーラーメイド健康管理支援事業、創薬事業

1. メディックグループ 創業理念

メディックグループは、個人の体質に合わせたテーラーメイド創薬だけでなく、予防や健康管理まで体質に合わせた医療および健康生活の実現を目指して事業を展開しております。

創業理念

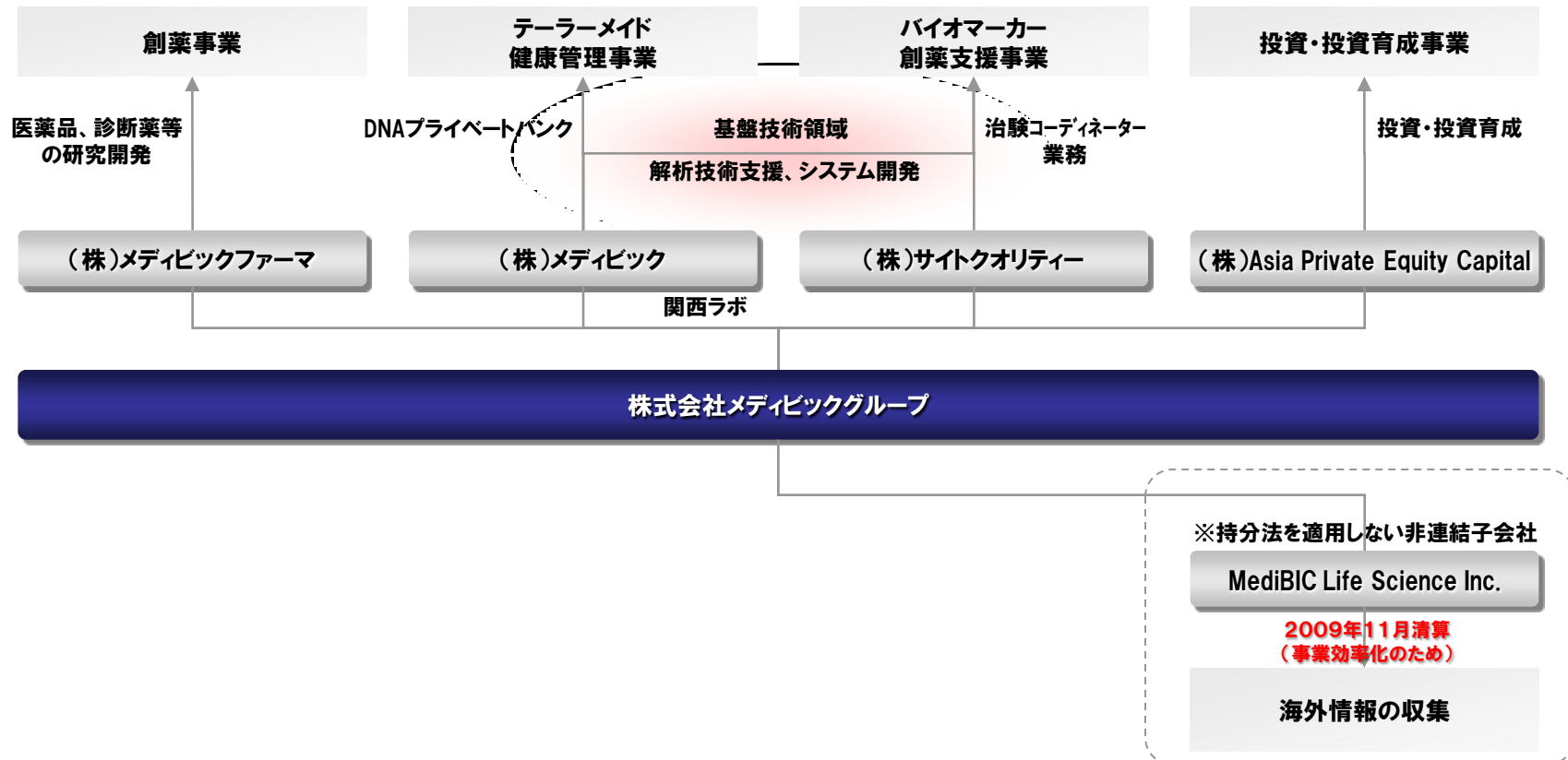
個人に適した
テーラーメイド医療の
実現を目指す

*Find the One
For Your Future.*

1. メディックグループ グループ構成

メディックグループは、グループ企業4社を含めたホールディングカンパニーとして活動しております。
米国MediBIC Life Science Inc. は2009年11月に清算致しました。

MediBICグループ



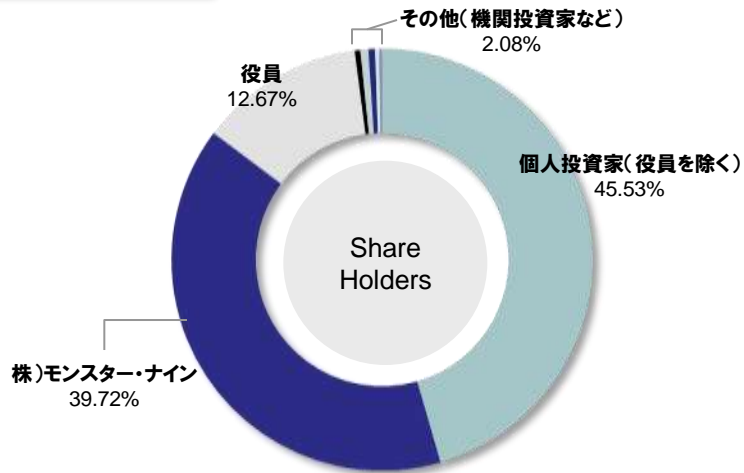
2. 重要事項 モンスターナイン社によるTOB

2009年12月に成立したTOBにより株式会社モンスター・ナインが弊社筆頭株主となりました。

TOB

メディックグループ新体制

SHARE HOLDERS



BOARD MEMBERS

氏名	役職名
橋本 康弘	代表取締役社長
樋口 潮	社外取締役(株式会社モンスター・ナイン代表取締役CEO)
小杉 文彦	社外取締役(MEDIACO株式会社代表取締役)

株式会社モンスターナイン会社概要



社名	株式会社モンスター・ナイン
所在地	東京都渋谷区桜丘20-1 渋谷インフォスタワー18F
電話	03-5459-9969
FAX	03-5459-9899
代表者	代表取締役CEO 樋口 潮
設立	2005/2/9
資本金	1000万円

営業内容

テレビ番組の企画、制作
 デジタルコンテンツの企画、制作
 インターネットを媒体としたコンテンツ配信
 ソフトウェアの企画、開発、制作
 各種イベント・アトラクションの企画、制作、運営及び管理
 スポーツに関する興行の企画、実施
 スポーツ選手のマネージメント業務
 飲食店の経営



Part 2. 事業報告

1. 平成21年12月期 連結業績

投資環境の冷え込みによる営業投資有価証券の売却交渉の長期化により当初目標としておりました売上高を達成するには至りませんでした。

主要経営指標(連結)

単位:千円

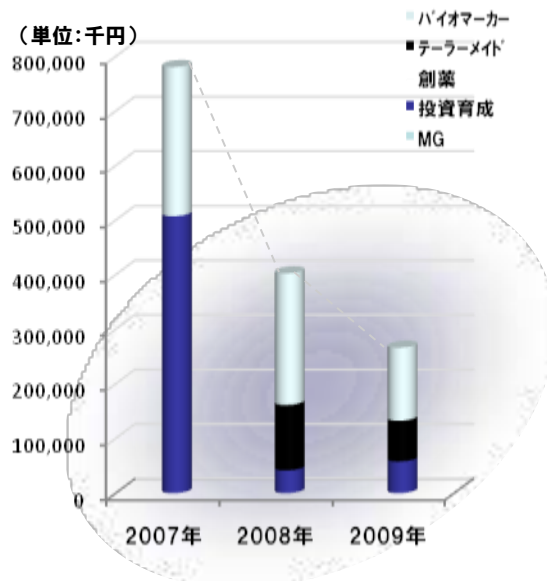
	2008年	2009年	差異
売上高	402,477	266,239	-136,238
売上原価	239,619	381,203	141,584
販売費及び一般管理費	540,759	511,241	-29,518
経常利益	-960,789	-609,533	351,256
当期順利益	-1,012,348	-615,542	396,806
純資産	932,137	396,550	-535,587
負債	175,056	79,245	-95,811
総資産	1,107,193	475,796	-631,397
営業活動におけるキャッシュフロー	-277,774	-379,650	-101,876
投資活動におけるキャッシュフロー	264,652	128,516	-136,136
現金及び現金同等物の期末残高	286,786	32,015	-254,771

1. 平成21年12月期 連結業績

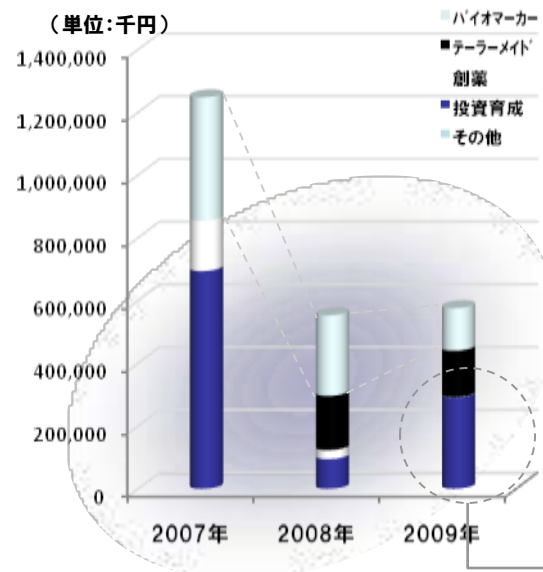
『再生プラン2009』に基づく一部事業の整理廃止、投資環境悪化によるキャッシュ化の遅れなどにより売上高が低迷致しましたが、効率化による営業費用の圧縮には一定の効果がみられます。

業績推移

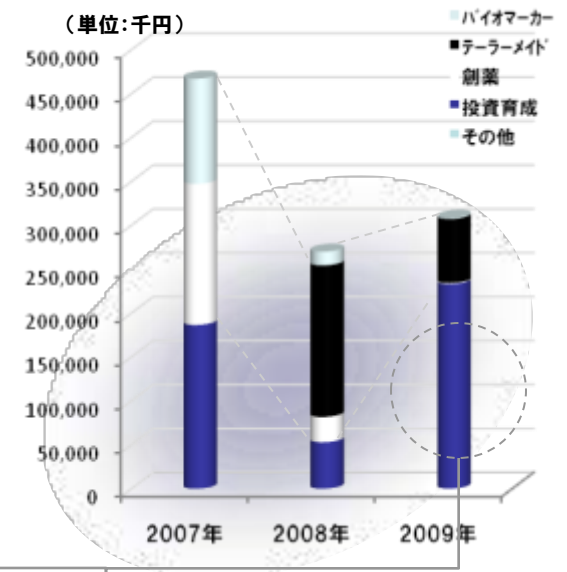
売上高



営業費用



営業損失

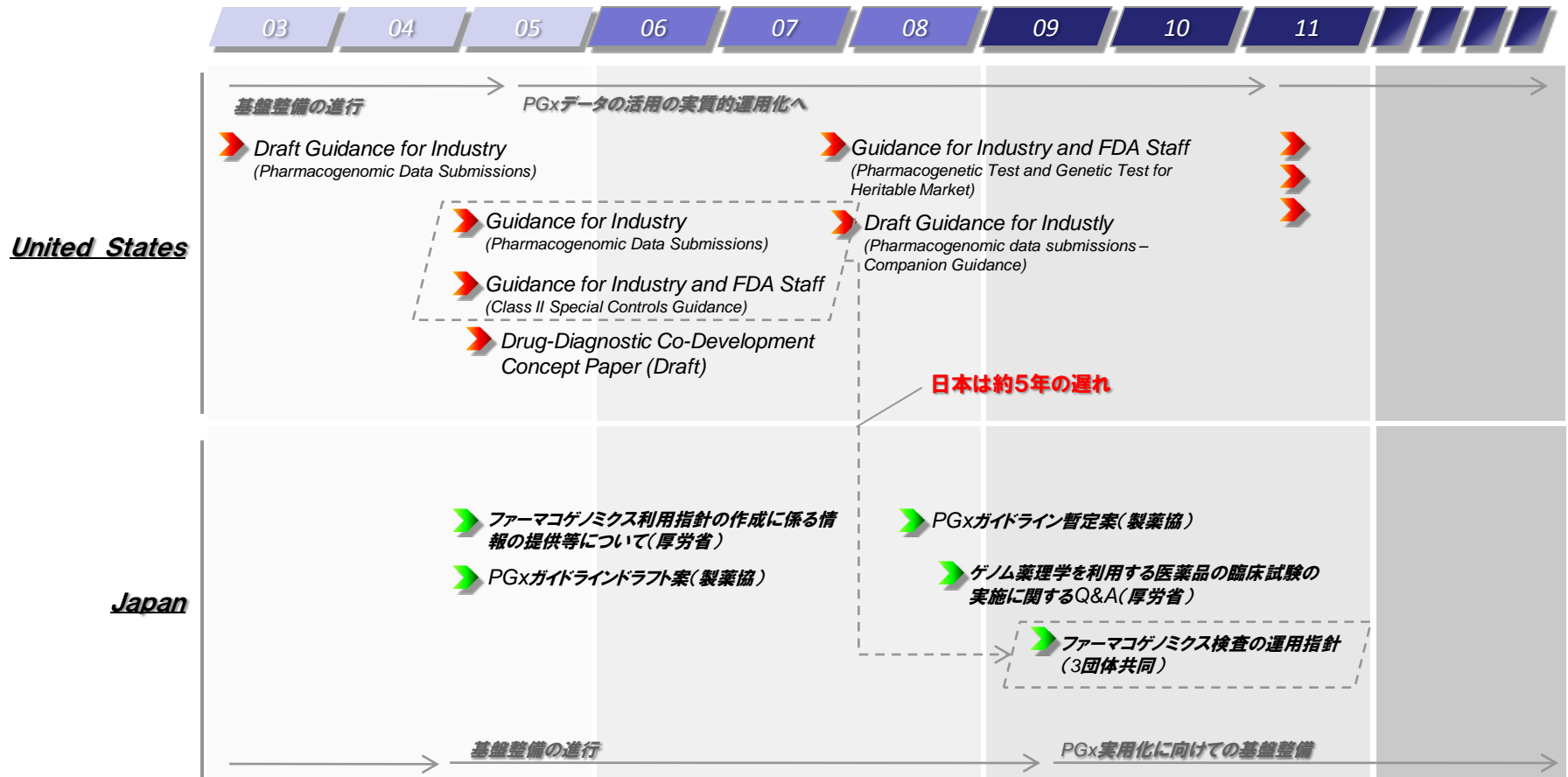


↓
営業投資有価証券の評価損
による影響(216M)

2. バイオマーカー創薬支援事業 コア領域マーケット概況

欧米においては、患者ベネフィットの向上と開発効率化の観点より、PGx試験の実施が進んでいます。日本では制度面を含む基盤整備は遅れていますが、市場は確実に広がりつつあります。

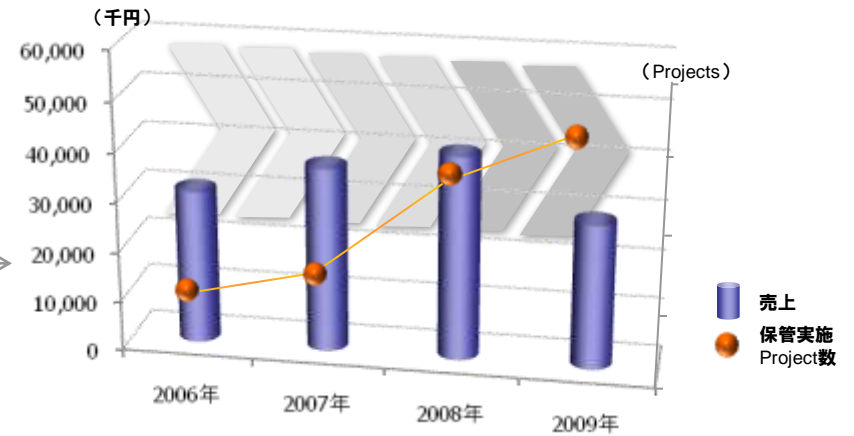
PGxマーケット



2. バイオマーカー創薬支援事業 PGx関連事業

基盤事業であるPGx事業は、検体保管実施プロジェクト数では順調に推移をしています。安定収益構造を持つバンキング関連の受託では、今後その活躍の場を拡大していくことを検討しています。

PGxソリューション



PGx Total Solution



安定的な収益モデル



幅広いバンキング対象を検討



MediBic

2. バイオマーカー創薬支援事業 システム

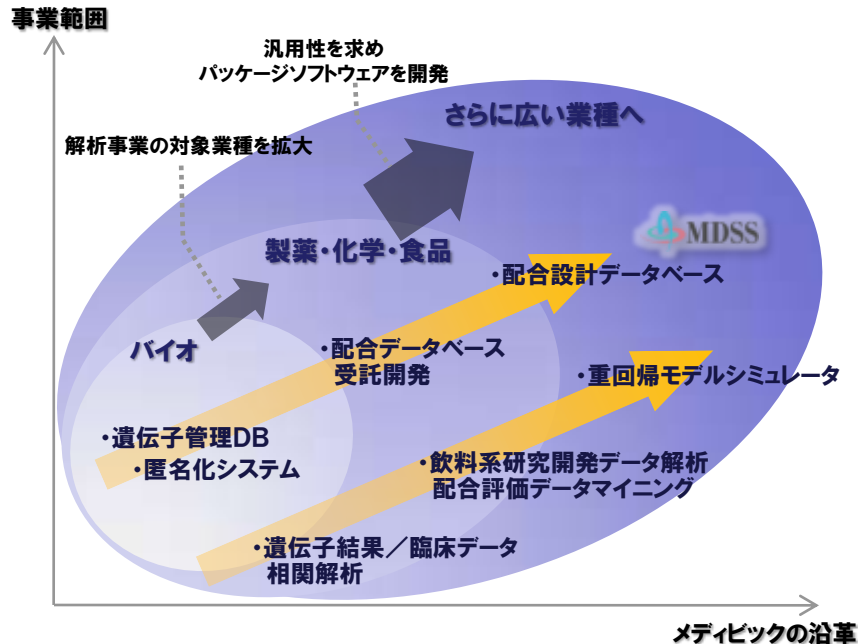
新規事業として展開した配合設計パッケージソフトウェアの販売は、ターゲット企業における反応も良好であり、今期受注が見込まれる状況にあります。

MDSS

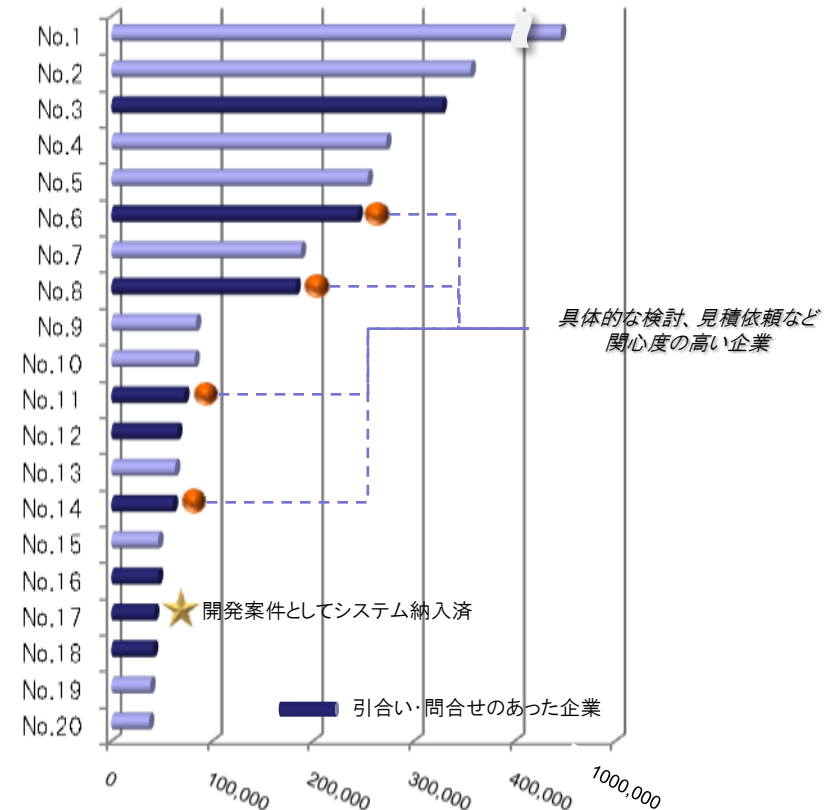
MDSSの開発

MDSS=Mixture Design Support System

MDSSは、『原料』『プロセス』『評価』の各データを一元管理し、研究開発の効率UPをお手伝いします。技術者の研究開発のデータ管理をアシストするツールです。



MDSSターゲット業界(TOP20社)における反応

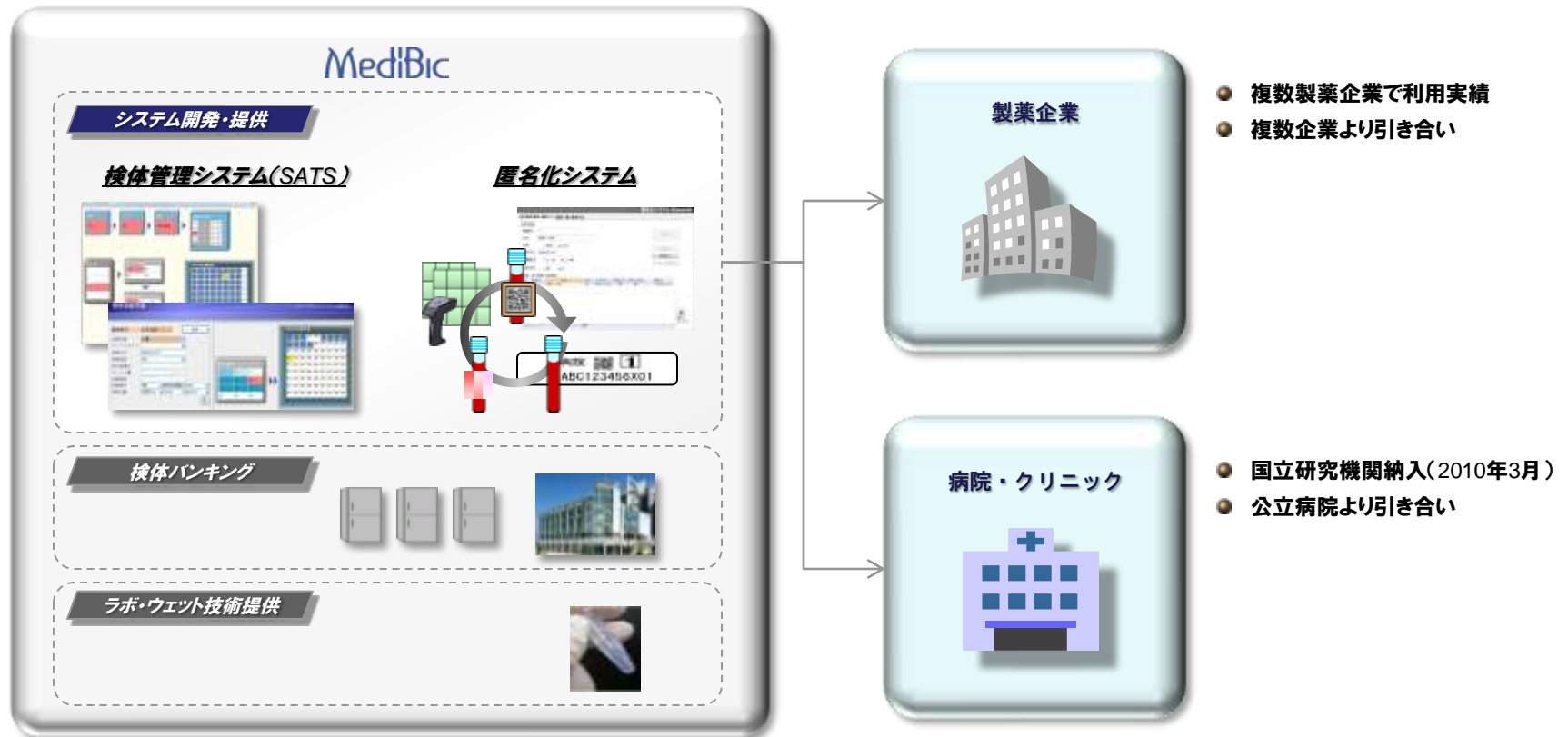


2. バイオマーカー創薬支援事業 システム

国内におけるPGxへの取組みが高まりつつあり、実施に必須となる弊社の『検体管理システム』に対する関心も高まってきております。

検体管理システム

検体管理システム(SATS、匿名化システム)



3. テーラーメイド健康管理支援事業 DNAプライベートバンク

DNAプライベートバンクサービスの本格提供を開始した、DNA検査関連事業では、従来の年会費モデルに加えて、新たにBtoBtoCモデルの開発や、モンスターナイン社との連携を模索致します。

DNA検査ソリューション

基幹ブランドの立上げ

さらなる新たなサービス展開へ

DNA PRIVATE BANK プライベートバンク

DNA PRIVATE BANK プライベートバンク

- 年間 会員制
- 遺伝子検査・その後のフォロー
- 診断項目7種類
- 幅広い疾患領域の検査
- がん・生活習慣病・加齢性疾患など

- 既存サービスはブランドとして継続

ターゲットの絞り込みとBtoBtoCモデルへの展開

- ✓ 特定検査およびそのフォロー(ex.眼科:黄斑変性症など)
- ✓ クリニック等を通じてのサービス提供モデルを構築
- ✓ ドクターの専門領域でカウンセリングが容易
- ✓ 顧客ニーズに即したソリューションも提供しやすい

Potnt 1. 疾患領域が広範囲だと・・・

対応するドクターには受入れにくい

Potnt 2. 年会費制度だと・・・

個人の希望に対する柔軟性が低い

モンスター・ナイン社との連携モデル構築の模索

- ✓ プロモーションやマーケティング経験を活用
- ✓ 個人に対するアプローチを強化

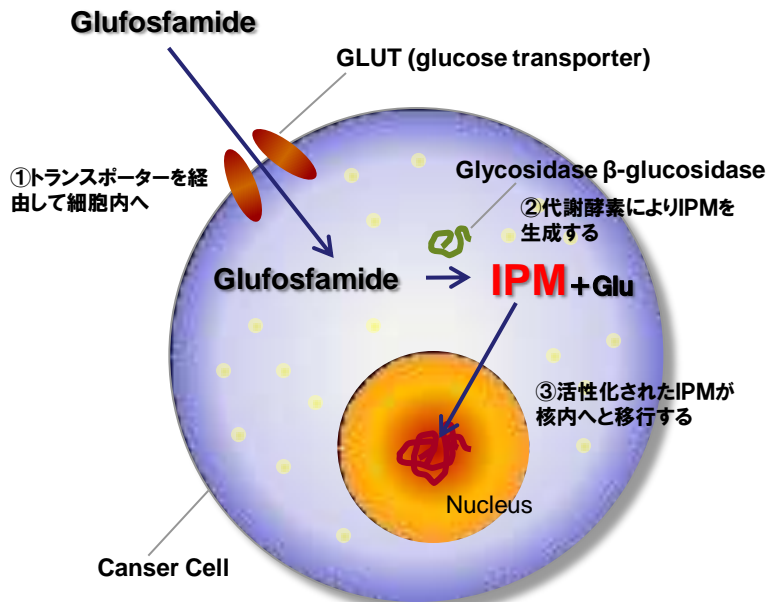
4. 創薬事業 抗がん剤グルフォスファミドの特徴

Glufosfamideは、がん細胞に特徴的な糖の取り込みを利用し、選択的にがん細胞で作用する抗がん剤として、胆のうがんや膵臓がんなどへの適用が期待されています。

グルフォスファミド

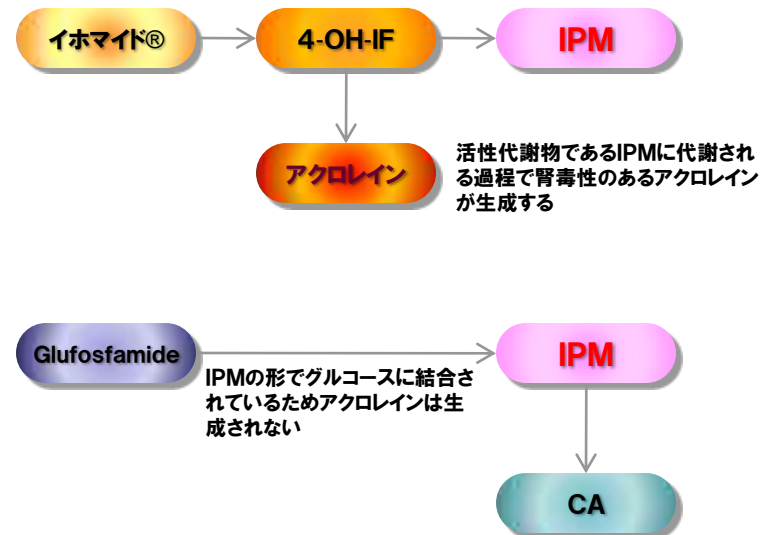
グルコーストランスポーターによる取り込み

低酸素状態にある“がん細胞”は、細胞増殖を維持するために正常細胞よりも多くの糖を取り込む性質を持つ。このがん細胞の性質を利用し効率的にがん細胞へ移行することを目的としてグルコース修飾を行っている。



Glufosfamideの代謝

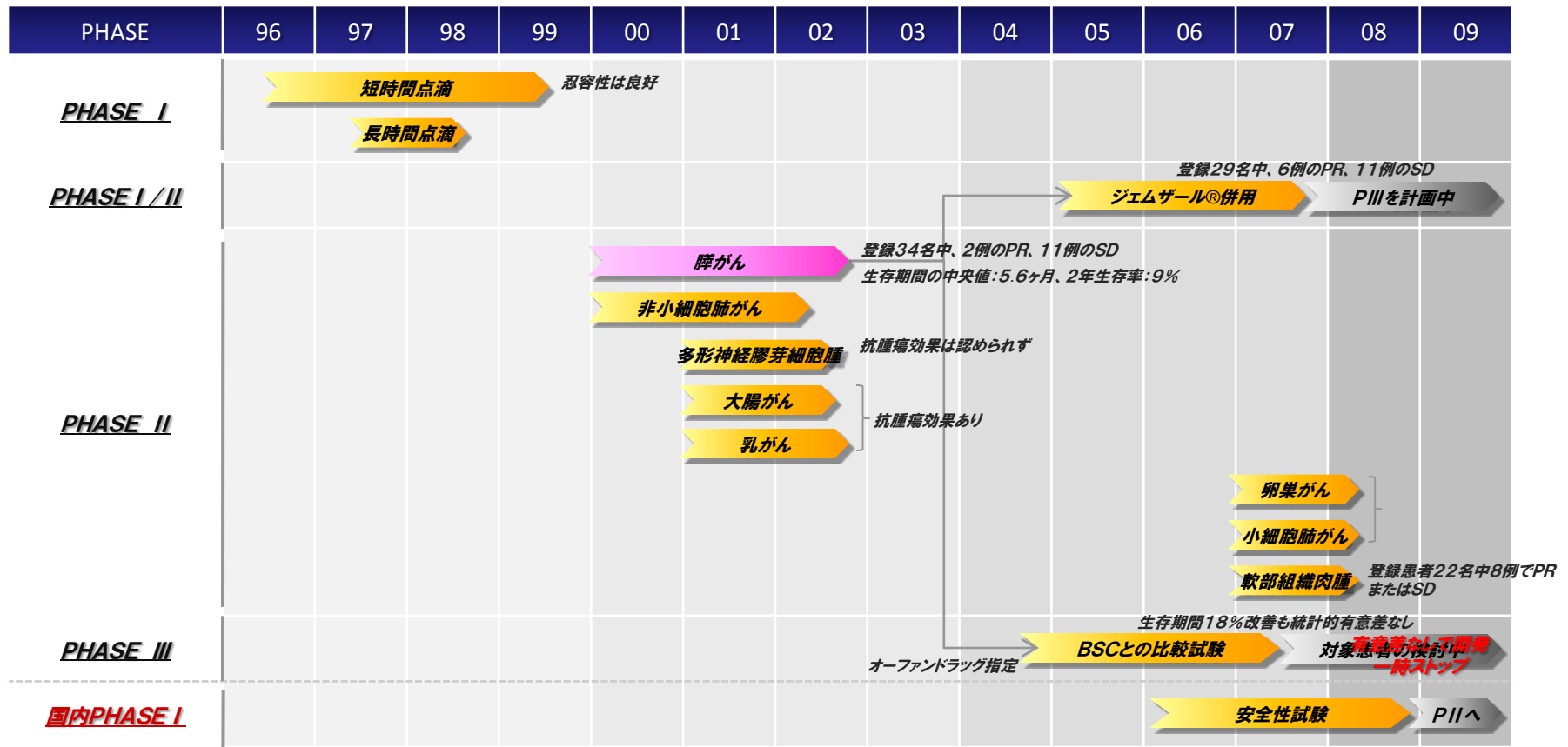
Glufosfamideは、イホマイド®の活性代謝物であるIPMをグルコースに結合した化合物であり、中間代謝物で腎毒性のあるアクロレインを生成しないため、イホマイド®が持つ副作用を抑えられると期待される。



4. 創薬事業 グルフォスファミドの開発経緯

欧米における臨床開発では、膀胱がんなど複数の腫瘍に対する有効性が確認されています(第Ⅱ相試験)。また、メディックファーマによる国内第Ⅰ相試験が2008年に終了しています。

グルフォスファミド



4. 創薬事業 米国Phase IIIの再開

海外で実施された第Ⅲ相試験では、全生存期間が18%長かったにもかかわらず有意差は得られませんでした。しかし、Eleison社がライセンスを取得し、米国での第Ⅲ相臨床試験が再開されます。

グルフォスファミド

1. Threshold社における臨床開発

第Ⅲ相試験(膵がん第2選択薬)の結果

全生存期間では、BSCとの比較で18%延長されたにもかかわらず、統計的な有意差は得られませんでした。しかし、**血糖降下剤(主にスルホニル尿素系薬剤)服用患者など、一定のサブグループで有効であることが示唆されています。**

膵がん

2004年~2007年

有効性

- 対象患者数:303人(ジェムザール®投与後再発例)
- 全生存期間:Glufosfamide投与群では、非投与群より3週間長かったが、統計的な有意差を得るに至らず
- 一定条件のサブグループでは有効であると考えられる

安全性

- 特に問題なし

対象患者の検討中

第Ⅱ相試験(膵がん併用療法)の結果

ジェムザール®との併用療法では、6ヶ月生存率は50%、1年生存率は32%と、特にジェムザール®単独または、ジェムザール®とTarceva®との併用療法の結果と比較しても1年生存率は予想以上に高い結果を得ています。

膵がん

2005年~2007年

有効性

- 対象患者数:29人
- 抗腫瘍効果:PR6名(21%)、SD11名(39%)

安全性

PⅢを計画中

2. 米国第Ⅲ相臨床試験の再開

Eleison Pharmaceuticals, Inc. (USA)

2008年設立の企業で“オーファン”ドラッグの開発をミッションとする。今回のGlufosfamideのライセンスおよびその臨床開発を目的として、資金調達とスタッフの整備を行っており、積極的な開発が進むことが期待される。

Eleison社、Thresholdよりグルフォスファミドのライセンスを取得
2009年10月

米国食品医薬品局(FDA)にSpecial Protocol Assessment (SPA)を提出、第Ⅲ相臨床試験再開へ

2010年2月

Threshold社における有意差データを活用

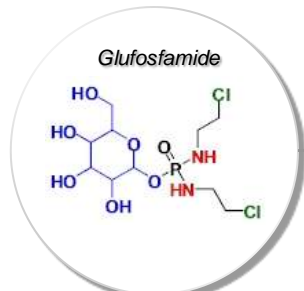
- ✓ 対象疾患は、膵臓がん
- ✓ グルフォスファミドの単体投与
- ✓ 対象患者群を『インスリン感受性』などで選択

4. 創薬事業 今後の展開(メディックファーマによるアジア開発)

国内第Ⅰ相試験の結果より、国内では未だ標準療法が確立していない膵がんおよび胆のう・胆道がんでの第Ⅱ相試験を実施すべく、現在その計画中となっております。

エリソン社の影響

メディックへの影響



MediBic

国内・アジア諸国における開発販売権

1. 国内における展開

…… 製薬企業とのライセンス交渉にはずみ

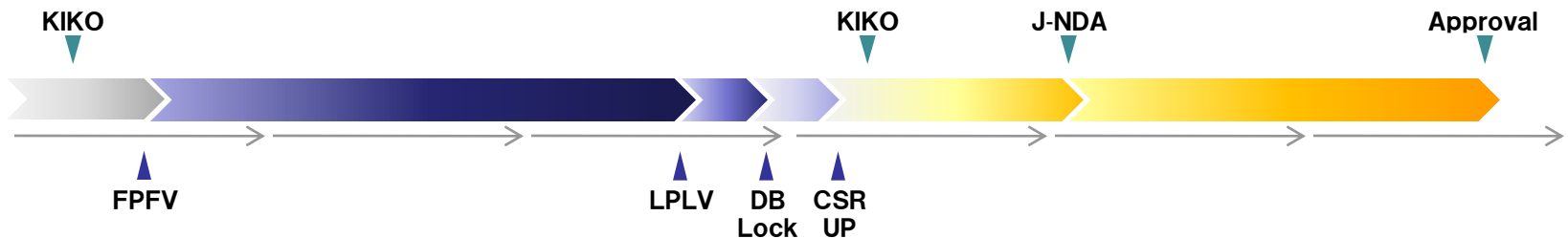
- ➡ 複数の国内製薬企業とライセンス交渉中
- ➡ 米国開発の再開・結果が検討条件の企業もあり、ライセンス交渉前進の可能性

2. アジア諸国における展開

…… Glufosfamideの製品化および国内開発を加速

- ➡ 中国・韓国企業からライセンスの打診、現在検討中
- ➡ 中国・韓国では、米国FDA承認後は比較的短期間で承認を受けることができる

国内開発イメージ



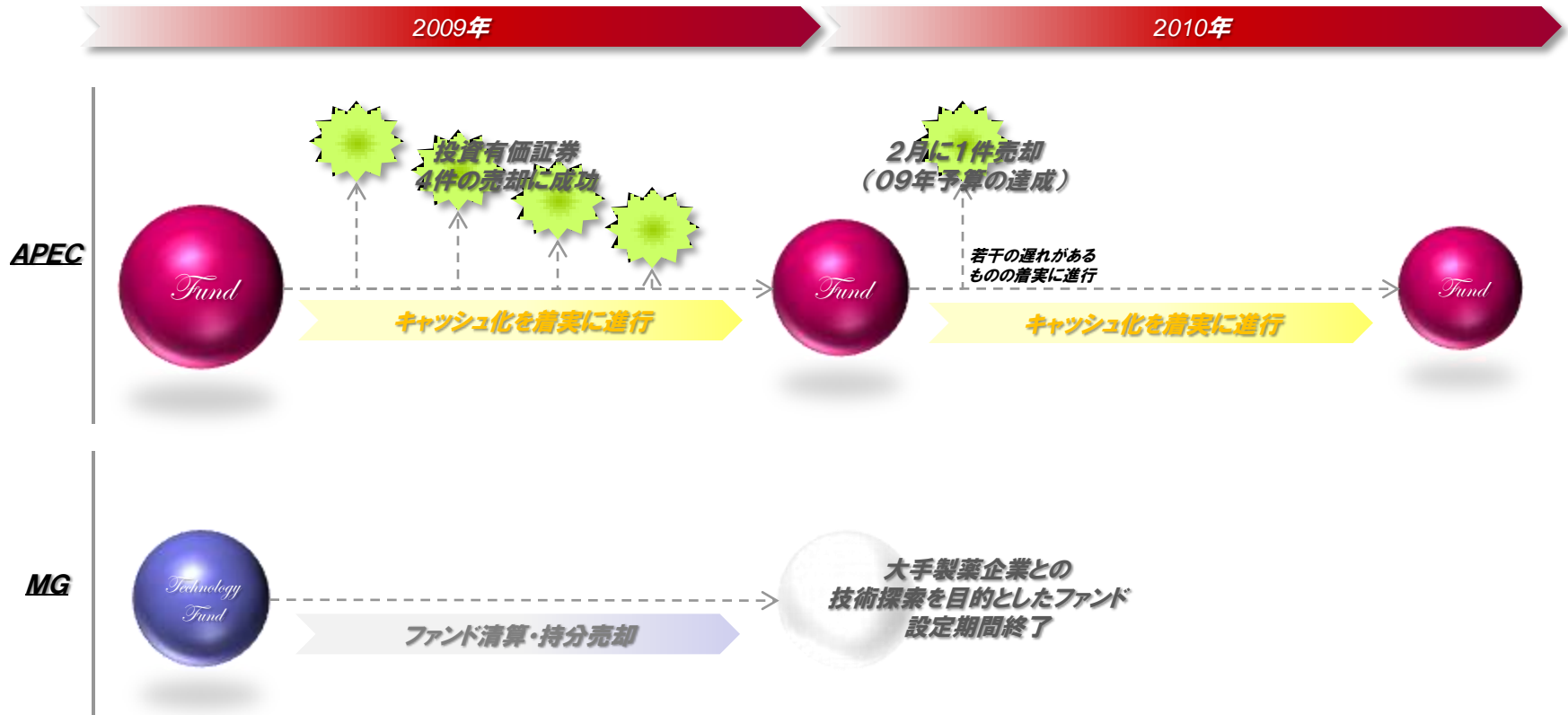
MediBic

5. 投資・育成事業 APEC

投資環境の悪化で予定よりは遅れているものの、『再生プラン2009』に従って投資資産のキャッシュ化は進行しております。メディックグループが保有していたファンドも清算完了しました。

APEC

APEC Asia Private Equity Capital



Part 3. 平成22年12月期

今期の取り組み課題 再生プラン2年目に際して

『再生プラン2009』2年目となる今期は、営業損益の黒字化を目標としております。その実現に向けて、事業収益の拡大、および資産のキャッシュ化をより一層進めてまいります。

課題

I. 事業収益の拡大

1. **PGx基盤技術を最大限活用したサービスの提供**
2. **既存技術領域における新規サービスの開発・展開**
3. **さらなるコスト削減、企業規模に適した体制への整備**

II. 資産のキャッシュ化

1. **営業投資有価証券の積極的な売却**

平成22年12月期予算 予算概況

平成22年12月期の通期見通しは、以下のとおりとなっております。

予算

単位：千円

	2009年実績	2010年	差異
売上高	266,239	300,000	33,761
売上原価	381,203	230,000	-151,203
販売費及び一般管理費	511,241	320,000	-191,241
経常利益	-609,533	-250,000	359,533
当期順利益	-615,542	-255,000	360,542

GCに關しまして 継続企業の前提に關する事項の注記

GCへの対応

I. 事業収益の拡大

1. PGx**基盤技術を最大限活用したサービスの提供**
2. **既存技術領域における新規サービスの開発・展開**
3. **さらなるコスト削減、企業規模に適した体制への整備**

II. 資産のキャッシュ化

1. **営業投資有価証券の積極的な売却**

株式会社メディビックグループ

www.medibic.com

MediBic

当資料取扱い注意点

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事業の認識、評価などといった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に係わらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。